

つなまち

2017年1月20日発行

No.203



愛のおせちを届けます

12月定例会 12/14～16

議長あいさつ、補正予算	02
議会採決結果、人事	03
一般質問 町政を問う	04～08
平成29年度 建策要望事項	09～10
委員会レポート	11
町民登場 この人に会いました	12

津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

新年の挨拶

津南町議会議長 草津 進

明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、熊本地震、北海道・東北地方への台風による大雨被害、阿蘇山の噴火・糸魚川の大火など全国で自然災害が多発しました。尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方々、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

津南町におきましては、記録的な小雪で、最高積雪は1m、3月末には消雪となり、例年よりも早く春作業がスタートしました。夏場から秋口にかけて天候が安定し、水稻は豊作となり、畑作も全般的に良好な生育となりました。

町政関係では、前年度に「津南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、それを基にした「津南町総合振興計画 後期基本計画」を取りまとめ、これらの計画を実行に移すスタートの年となりました。人口の減少、少子高齢化、過疎化など津南町を取り巻く環境は依然厳しく、地域社会や町民の生活にも影響を及ぼしており、早急な対応が求められます。

一方、44年ぶりとなった飯山線のSL運行、スカイランタンを中心とした津南雪まつり、栄村と連携して取り組む苗場山麓ジオパーク、日本遺産に指定された火焰型土器と雪国文化などの津南の地域資源を活用しながら交流人口の増加が図られていることは誠に喜ばしいことです。

議会といたしましては、津南町の更なる発展と魅力あるふるさと津南を築き上げることを目指し、各種施策の推進に今後とも積極的に努力をしていきます。さらに、議会定例会のインターネット中継、議会報発行や住民・議会懇談会を行うなど情報発信に努め、町民の皆様により身近な議会となるよう取り組んでまいります。

今年一年間、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

決まったこと

平成28年第4回議会定例会が12月14日から16日までの3日間開催されました。一般質問は1日目・2日目で9人が立ち町長との活発な議論がなされました。最終日は、人権擁護委員候補者の推薦、町固定資産評価審査委員会委員の選任、議案13件について審議され、今定例会で提出された議案はすべて可決し、定例会を閉会しました。

主な補正予算

一般会計

補正額増 1億2,830万円
総額 79億6,242万円

(主な内容)

ふるさと支援まちづくり基金
積立金増 5,000万円
ふるさと納税事務委託料増
2,500万円

臨時福祉給付金増

2,400万円

中山間地域等直接支払交付金増

273万円

機構集積協力金交付金増

973万円

用排水施設等整備事業負担金増

1,804万円

特別会計

国民健康保険特別会計

補正額減 920万円

総額 12億9,163万円

介護保険特別会計

補正額増 433万円

総額 18億1,851万円

簡易水道特別会計

補正額増 325万円

総額 1億4,319万円

下水道事業特別会計

補正額減 31万円

総額 3億9,352万円

農業集落排水事業特別会計

補正額減 306万円

総額 2億9,530万円

津南病院事業会計

補正額増 166万円

平成28年12月議会採決結果

議案番号	件名	表 決 状 況											採決結果	
		半戸 義昭	村山 道明	石田 タマエ	風巻 光明	恩田 稔	桑原 洋子	中山 弘	津端 眞一	大平 謙一	河田 強一	藤ノ木 浩子		吉野 徹
議案第77	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78	津南町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○
議案第79	津南町特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○
議案第80	津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81	津南町農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
議案第82	津南町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
議案第83	平成28年度津南町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84	平成28年度津南町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85	平成28年度津南町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86	平成28年度津南町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87	平成28年度津南町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88	平成28年度津南町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89	平成28年度津南町病院事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

●採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決等の場合：否＝賛成少数で否決等の場合）

●表決状況の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除：議長は表決に参加できません）

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦

（全員賛成で推薦適任）

渡邊トシ氏（反里口）



信州大学教育学部卒

平成13年3月 外丸小学校退職

平成14年4月より人権擁護委員

◆津南町固定資産評価審査委員会

委員の選任

（賛成多数で同意）

大澤 隆氏（外丸）



平成5年6月より

土地家屋調査士事務所開業

平成16年12月より

津南町固定資産評価審査委員会委員

町政を聞く!!?

一般質問 (9議員)

1 半戸 義昭 議員 (4ページ)

1. 高齢者社会対策は

2 大平 謙一 議員 (5ページ)

1. 観光関連施設の振興計画は

3 桑原 悠 議員 (5ページ)

1. 災害に備え、避難者カードの改善を

4 中山 弘 議員 (6ページ)

1. 観光資源の案内は
2. 信濃川河川整備計画の見通しは

5 藤ノ木浩子 議員 (6ページ)

1. 子ども医療費の無料化を

6 村山 道明 議員 (7ページ)

1. 特別栽培米の対策は
2. 大船団地の入居予定は
3. 保育園の統合は

7 栗原 洋子 議員 (7ページ)

1. 安心安全な深見坂に
2. 運転免許卒業祝と公共交通充実を

8 吉野 徹 議員 (8ページ)

1. 総合戦略の予算化と実行計画は

9 石田タマエ 議員 (8ページ)

1. 生活介護同等のサービスの構築を
2. 障害福祉サービスを具体的に

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

高齢者社会対策は

問 高齢者にとって大事なものは、生きがいであり活躍の場をもっと広げてほしいが考えはあるか。

町長 高齢者が生きがいを感じ活躍の場を広げることが、たいへん重要なことであり、慰問活動、給食ボランティア活動、苗場山麓ジオパークの

問 高齢者の持っている知恵や経験・知識をこれからの町づくりにも活用するため、働く意欲のある高齢者に雇用の場の提供が必要であるが見解は。

町長 高齢者が就業の場を求める場合、シルバー人材センターに登録する方が多い。高齢者雇用助成金の活用、企業の再任用制度もあり、町の働きかけとして需給バランスを考慮し慎重な対応が必要である。

問 高齢者の雇用、生きがい、スポーツなどの町の取り組みは



半戸 義昭 議員



高齢者スポーツ

問 高齢者の健康増進のためにスポーツの推進、施設の整備などが必要ではないか。

町長 クアハウス津南での水中運動、地域で行われている健骨体操など高齢者がより多く参加できるように計画し、支援したい。また、来年度にクアハウス津南の駐車場整備に取り組みたい。

案内など幅広く活躍していただいている。さらに、県では介護事業所が高齢者を介護助手として採用する制度を来年度計画しており、実現すればより一層活躍の場が広がる。「新しい公共」の考えからも積極的に参加してほしい。

観光関連施設の振興計画は

町内各施設の運営計画に どう関与するのか



大平 謙一 議員

問 ニュー・グリーンピア津南について昨年、(株)津南高原開発と10年契約をした。築30年の施設の修繕に莫大な金がかかる。賃貸料と町一般財源1億円を上限とする基金で修繕費は間に合うのか。

町長 昨年は14万9千人の入込み客があり町全体の観光客の25%を占めた。町内から1億7千万円の資材購入や百人以上の雇用があり重要な施設だ。今後運営協議会で修繕計画を協議し、基金を有効に活用していく。

問 竜ヶ窪温泉の累積赤字が5千万円以上あるが、どう継続するのか。また、萌木の里の今後の計画は。

町長 竜ヶ窪温泉は開業時と比べ住民の意識が変わってきているのではないかと。地域で



宝 山 荘

真剣に議論してほしい。萌木の里は、石垣田の整備、栄村と連携したジオサイト・トレッキングコースの整備、雪国観光圏との取り組み継続等が観光客増につながる。

問 パノラマ合同会社に委託したマウンテンパーク津南、そして宝山荘はどうなるのか。

町長 マウンテンパーク津南では全国から1千4百人もの子どもたちが英会話のみのキャンプをしながら大自然を満喫した。宝山荘は民間業者から経営プランの提案があったがまだ具体化していない。今後公募など含め慎重に考える。町自ら経営することは考えていない。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

災害に備え、避難者カードの改善を

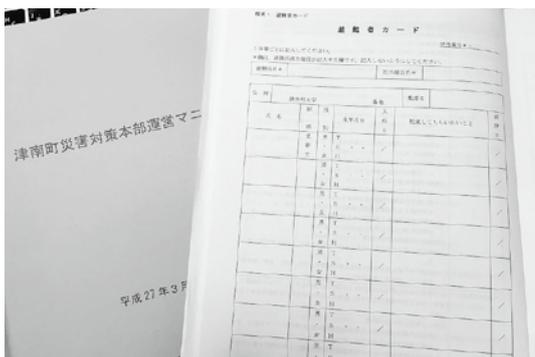
災害時の避難所で 特に配慮する人は



桑 原 悠 議員

問 東日本大震災、長野県北部地震の教訓を踏まえ、災害時には介護が必要な高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児など「特別な配慮を必要とする避難者」のすみやかな状況把握が必要になっている。当町でも、平成27年3月に災害対応マニュアルを作成し、「避難者カード」で状況把握に努めようとしている。すみやかに避難者を把握し、要配慮の避難者への支援を滞りなく行うには「避難者カード」の改善が必要ではないか。

町長 今の「避難者カード」で記入する手間がかかる箇所や避難所の受付を円滑に行うために、チェック項目とするなどの工夫を考える。柔らかな食事、乳児のミルクなどきめ細やかな支援が必要になる



災害対策を地域で学び備えよう

ので集落や民生委員の協力を得て災害に備えていきたい。

総務課長 平時から福祉保健課で要配慮者の名簿を作成し、支援が滞らないよう備えている。

問 集落総代には災害対応マニュアルが毎年引き継がれているか。

総務課長 把握していないが、引き継がれるように嘱託員会議などで説明したい。町のホームページでも公開したい。

問 やむをえず避難所に行けない在宅避難者の把握、支援は。

総務課長 そのような被災者も情報把握し、必要な支援につなげたい。

信濃川の管理と河川整備計画を問う



中山 弘 議員

観光資源の案内は

問 苗場山大赤沢新道の整備と管理委託の考えは。

町長 平成25年の大雨で登山道が流出し、ルートは遠回りになった。登山道は栄村地籍だが維持管理は今後も町が行う。

問 小松原湿原の入り口案内や誘客の考えは。

町長 大場ルートは崩壊箇所があり中越森林管理所に願っているが、財政難を理由に改修されていない。誘客では重要なジオサイトでもあり、教育委員会と連携し検討する。

信濃川河川整備計画の見通しは

問 河川整備計画の説明では整備対象は8地区であった。町独自の調査は行うのか。

町長 町内区間の河川管理者は新潟県であり、上下流のバ



外丸河原

ランスをとりながら一体的に整備を進めていくので、町単独の調査は難しいが、必要であれば県に要望する。今後とも河川環境の整備保全等に関して地域の意見を反映し、整備計画に掲げた事業の推進を県と連携しながら進める。

問 宮中ダム上流は新潟県の管理区間だ。国直轄が好ましいか。

町長 平成6年に千曲川、信濃川直轄河川編入連絡協議会を設立して国県に直轄編入実現の要望している。町としてはバランスの取れた上下流河川整備であれば国、県のどちらの管理区間でも良い。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

子ども医療費の無料化を



藤ノ木 浩子 議員

全国自治体の約6割が自己負担なし

問 県内の子どもの医療費助成は、入院で高校卒業までが19自治体、通院では16自治体まで広がった。全国では自治体の約6割が一部負担なし(1030自治体、年齢差あり)になってきている。子育て支援として、高校卒業まで一部負担なしで取り組まれたいかどうか。

町長 26年度に対象を拡大した。保育料の軽減や給食費の減額など総合的に子育て支援策の見直しをする中で、自己負担のあり方を検討する。

問 医療費助成の県負担は567万円(約34%)、2分の1は県が負担するよう要望すべきた。

町長 県は子ども3人以上いる世帯について、入院・通院とも高校卒業まで2分の1負



子育てをもっともっと応援しよう

担となつていいる。28年度からは市町村が子育て事業に自由に対応できるよう制度改正をした。交付金の額をみながら対応を検討したい。

問 窓口負担を無料にする財源はどのくらいか。

福祉保健課長 試算では、600万円の財源が増えるともみている。

問 県の医療費助成制度を充実するよう声を上げて頂きたい。

町長 知事との懇談会が開かれるので必要であれば訴えたい。

問 国に医療費無料を求めよ。

町長 勉強して検討する。

特別栽培米の助成制度継続が必要だ



村山 道明 議員

特別栽培米の対策は

問 平成23年度スタートした津南町認証米制度は、限られた財源の中、より効果的施策である。今後ともトップブランドとして津南産コシヒカリの品質向上と作付拡大に意欲をもって行えるように、特別栽培米助成制度の支援措置を継続するか。

町長 平成28年度認証米実績としては、助成対象面積250ha、認定俵数1万5千362俵であった。どこよりも美味しい米を作らないと売れないという意識が浸透してきた。制度継続についてはきわめて強く受け止めている。

大船団地の入居予定は

問 今年度中の完工が厳しいと考える。今後の見通しを問う。

町長 次年度に繰越し、平成



建築中の大船団地

29年秋には完成できるように進め、降雪期前に住居移転を完了させたい。

保育園統合は

問 保育園統合はその地域の子育てニーズを重視すべきである。津南小学校増築を前提とした上で答申通り進めるとしているが、この見解を問う。

教育長 答申に沿った整備を進める。早朝、延長、病後児保育など保護者ニーズに応えるには2園案が妥当と考える。津南小学校増築に目途がついた今、保護者や地域住民の理解を得られた地区から統合を進める。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

危険な深見坂改良へ早期着手を



栗原 洋子 議員

安心、安全な深見坂に

問 深見坂は津南原、中津、赤沢台地を結ぶ重要な農業幹線道路である。かつて広域農道改良計画があり、深見坂2kmだけが用地買収も進まず、町道として危険な箇所もそのままの状況だ。町自律促進計画は、「早期に着手し、広域農道として全線を完了させる必要がある」としている。今年度、着手する計画があるのか。

町長 重要な生活幹線道路であり、改良整備の必要性は高いと認識しているが、用地の了解が得られないなどの理由により未改良区間となっている。今年度は地権者名寄せ作業を実施し、地権者から土地立入りの了解を得たうえで、来年度測量調査に入りたい。

問 住民からも「できる所からやってくれ」との声が強くある。安心して通行できるよ

うにすることは町の責任ではないか。

町長 協力得られた所から工事に着手したい。危険箇所の対応も含め、安全対策を進めたい。

運転免許卒業祝と公共交通充実を

問 近年高齢運転者の事故が相次いでいる。事故防止と免許返納の啓発、返納後の生活を支えるための支援と公共交通の充実を。

町長 自主返納の支援策に協議を重ねているが具体化に至っていない。公共交通対策の見直しも含め喫緊の課題と認識している。



早期改良を待つ深見坂

総合戦略施行への新年度予算と具体策は



吉野 徹 議員

総合戦略の予算化と実行計画は

問 自主財源比率25%、交付税依存度45%の町財政の中で進められている町総合振興計画後期計画並びにまち・ひと・しごと創生総合戦略の施策として以下について見解を問う。
①空き家を活用した移住交流定住対策
②財政の健全化
③今後の計画実行にあたっての予算化と専属職員の配備は。

町長 新年度において、これまでの成果を検証しつつ、民間活力や地方創生交付金を活用し、有効な取り組みを関係機関との連携を深めて行っていく。

空き家対策については、移住者への住宅提供や、利用者負担軽減を考える中で、子育て住宅として活用したい。実行にあたって今年度実施

した空き家実態調査を集計し、データベース化を進め、移住するための条件整備を検討したい。

また、財政健全化については、将来に備えて自立財源を確保し、厳しい財政状況を念頭に置きながら財政運営を図りたい。

事業実施にあたって、基本的には各課の連携で対応し、必要に応じてプロジェクトチームを立ち上げるなど柔軟に取り組みたい。

副町長 移住推進協議会については、ホームページ等の修正を図り行う。



津南町総合振興計画

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

障害福祉環境整備計画を具体的に



石田 タマエ 議員

生活介護同等のサービスの構築を

問 以前から「町内に生活介護を希望する」声が多いが、町長は、「利用者が少なく事業として成り立たない」との答弁であった。しかし、社会福祉法人より生活介護同等のサービスの提案があったので、早急に取り組み考えはないか。

町長 その提案は準備期間が必要だとのことだ。いこいの家でも一部対応できる。今後は、ニーズ調査をしながら、関係者との検討を重ねる。

問 検討も必要だが平成29年度から計画できないか。

町長 関係者の熟度が高まってサービスができるので、行政だけでは平成29年度からは言えない。

障害福祉サービスを具体的に

問 町総合振興計画の前期、後期を通しての10年間では「ニーズの把握や障害者が快適に生活できることを目指す」と言った表現で、具体的な施策に結びついていない。整備計画をより具体的にし、順次整備をすることで、効率的な拠点ができる。また、計画に具体性がないと、検証・改善に結びついていかないが見解を問う。

町長 理想としてはサービスを統合することが効率的だが、制度・財源など総合的には難しい問題だ。

福祉保健課長 今後はより具体性のある計画立案に努める。



完成した「いこいの家」

平成29年度 建築要望事項

来年度の予算編成に向け、諸事業の要望書を町長に提出し、12月9日に回答を得ました。
主なものは、次のとおりです。

総又福祉常任委員会

【総務関係】

職員について

要望 多様な人材を確保するため正職員採用年齢の引き上げを図りたい。

町長 採用年齢は引き上げを図っているが、特に技術職については採用方法を研究する。

交通安全対策について

要望 冬季間の通学路線の安全確保のため、除雪対策を講じられたい。(津南中道路、太田新田地区)

町長 町通学路安全推進会議を通じて、各学校からの要望や危険個所の合同検証を行い、対応している。

公共交通体系について

要望 高齢者が免許証返納した後公共交通体系を確保されたい。

町長 町単独では難しいが、交通事業者と新潟県等行政機関と連携しながら町公共交通協議会でも研究していく。

消防防災について

要望 集落消火栓設備の老朽化更新対策として、助成制度を新設されたい。

町長 消火栓本体は無償貸与しているので、この制度は続けていく。



壊れた消火栓ボックス

活を維持できるように「地域包括ケアシステム」の円滑なる導入を図りたい。

町長 「生活支援・介護予防体制整備推進会議」を平成27年度に立ち上げ、検討を始めている。

健康増進について

要望 クアハウス津南のプールが非常に手狭になっており、拡張を計画されたい。

町長 本施設はここ数年で源泉水位が低下しておりプール拡張分まで確保できるかなど対応策を検討し、できるものから来年度予算に反映したいと考えている。

【教育関係】

子育て教育関係について

要望 未満児の受け入れの月齢引き下げと19時までの延長保育を実現するため、保育士を確保しモデル園として1園だけでも実施されたい。

町長 規模の大きい「ひまわり保育園」でも最低基準の職員で運営している状況であり、保育園の施設整備後の対応となる。そのため園整備を急ぎたい。

教育予算の拡充について

要望 高校生への通学費の補助制度を創設されたい。

町長 統合により小中学校の通学支援費が増加している状況であり、まず小中学校への対応を優先させたい。

要望 学びたい意欲のある学生の就学支援として、奨学金の増額を図られたい。

町長 可能かどうか検討を進める。

スクールバスについて

要望 児童生徒が路線バスで不都合が生じている地区については、スクールバスの専用化を図られたい。

町長 町所有バスと公共バスとで連携をとった協議を重ねており、不都合があれば検討する。全線専用化は現状では難しい。

【病院関係】

病児・病後児保育について

要望 子育てと仕事の両立を支援するため、病児・病後児保育の実施にむけて取り組まれたい。

町長 休床となっている療養病棟利活用検討会議で議論されており、答申を待つて検討する。

産業建設常任委員会

【地域振興関係】

農林関係について

【要望】 農林産物の生産拡大と津南町認証米制度の継続を図り、流通販売対策とPR活動を積極的に取り組み、平成29年度は津南町認証米の全体量が減少にならないよう取り組み強化を図りたい。

【町長】 高リコピン人参の春収穫による実証試験を行い、付加価値販売の可能性を検証していく。また、サツマイモの栽培面積の拡大と栽培指針の確立に取り組み、新規作物として導入を検証する。津南町認証米については、生産者に対し、他産地との差別化による有利販売に繋がることを啓発し理解してもらうとともに、面積拡大をお願いしていく。補助制度の継続については、今後財政面も考慮しながら検討していく。

【要望】 有害鳥獣被害対策に引き続き努力されるとともに、小規模農家に対しても鳥獣被害特別措置法の活用を強化されたい。

【町長】 熊の電気柵については今後

も要望を取りまとめ継続するとともに、カラス駆除の檻製作補助や自家消費野菜についての電気柵補助についても今後検討する。

【要望】 本町林業の基盤確立のため、全国森林環境税の早期実現に向け、国・県に強く要望されたい。また町内産木材使用の新築及び増築に助成し、林業活性化に取り組みたい。

【町長】 森林整備として平成29年度3地区の間伐、枝打ちを予定している。森林環境税については、県の取組みに歩調を合わせる。町村会においても、全国森林環境税の創設を要請している。また、町内産材助成については需要動向を調査した上で検討する。

商工観光関係について

【要望】 JR飯山線の活性化を図り、SL定期運行の実現に向け、取り組みたい。

【町長】 44年ぶりに津南の地をSLが走り、5千人規模の大イベントとなった。観光列車「おいこっ」とSLが並行運行されれば、新たな鉄道観光として大いに期待できるものであり、沿線市町村と連携

しながら要望活動を行っていきたい。



念願のSL運行

【建設関係】

国・県公共について

【要望】 国道353号（十二峠）については改良工事の早期完成を期し、新規事業であるトンネル工事の実現に努められたい。

【町長】 十二峠新トンネルは、期成同盟会と共に今後も継続して要望していく。

住宅・改修について

【要望】 津南町住宅改修補助金交付制度は、経済効果を押し上げ、大

きな成果をあげている。制度利用への要望も多いので、過去に交付を受けた者も5年以上経過した後は、補助対象にされたい。

【町長】 平成21年度から経済対策として取り組み、平成25年度は、過去に補助事業を実施した人でも、限度額10万円まで補助対象とし、平成26度には高齢者・子育て世帯に10万円を上乗せして補助する制度とした。空き家住宅対策と合わせて引き続き継続していく。5年以上経過の新たな補助対象については、不公平が生じることなど、県に要望しても難しい状況である。



R353早期改良を

委員会レポート

総文福祉常任委員会

町内介護施設視察・懇談会

とき 11月8日(火)

ところ 恵福園・リバーサイドみ

さと・かりんの里

内容 町内の核となる2社会福祉法人(つなん福祉会、苗場福祉会)を訪問視察し、また施設の現状説明をもとに懇談会を行いました。2法人に共通する大きな課題は、「介護・看護職員の確保」です。

新卒者の就職希望者は皆無に等しくほとんどが中途採用者で、子育て世代の女性であったりお元気な高齢者であったりと採用間口を広げています。また、両法人ともに施設利用待機者が減ってきているとの現状報告を受けました。

今後の課題は、医療機関から介護施設へスムーズに移行するため、津南病院の「地域連携室」との更なる連携強化が必要とのことです。

視察を終えて

医療介護スタッフが不足するなか、あらゆる工夫を講じて要介護

者へのサービスの質を確保している両法人の運営に敬意を表します。今後は、女性の就労支援のための保育環境整備に向けた調査を進め、議会委員会活動につなげていきたいと考えています。

(担当 石田タマエ)



介護施設「特養かりんの里」

産業建設常任委員会

まちづくり応援隊「桜宴隊」の懇談会

とき 10月7日(木)

ところ 役場第1委員会室

内容 津南町を元気にする若者の集団「桜宴隊」は津南町観光協会の文化部から進化し、平成19年に発足した団体です。現在は隊員10名ほどで活動しています。主に「ひまわりウエディング」「雪まつり」のスタッフや「彼岸市のお化け屋敷」等、まさにまちづくり応援隊です。

名前の由来はイベントの疲れを「花見の宴」のような楽しさに変えて頑張れる「桜宴隊」としたといえます。活動時間がまちまちなために仕事との両立が難しく、入隊者が少ないのが課題です。最近では、未来の隊員をふやすために、小学生を対象としたイベントにも力をいれています。

懇談会を終えて

先ず隊員の活力がひしひしと伝わってきました。メンバーは自主参加であり、ボランティアでも完全燃焼というだけあって熱気がありました。津南町の陰日向になり、町内外に笑顔を生む若者の行動が次世代に繋がることを望んで止みませんでした。(女性隊員も参加自由ですので大歓迎とのことでした。)

(担当 中山 弘)



ひまわりウエディング

津南町建築協議会との懇談会

とき 10月12日(水)

ところ 町商工会館

内容 町内建築業者等で組織している町建築協議会との懇談会を実施しました。会議では、町の住宅補助事業について改めて議会要望がありました。

主な内容は、住宅リフォーム事業の継続、補助金利用者要件の拡充(再申請可能へ)、新築住宅への助成、定住促進・空き家対策とともにU・Iターン者への特別枠新設等で8項目の要望がありました。また、プレミアム商品券の発行や人口減対策、結婚・出産・子育て支援対策のために町有地の宅地造成化を行い、若者を呼び込む提案もあり貴重な意見交換が行われました。

懇談会を終えて

常任委員会で懇談会内容を慎重に検討し、住宅改修補助については、町に建築要望しました。若者定住のニーズに応えるべく引き続き調査研究してまいります。

(担当 津端真一)



町民登場

この人に会いました・・・

その べ こう いち
菌 部 浩 一 さん(大割野)

学校の校庭にナイター照明が燈るとザワザワといつきに騒がしくなります。スポーツ少年団は小学4年生以上で50名ほどで、週2回の活動に集まってくるからです。

それは私が津南町に来て間もなくのことでした。約18年ほど前、津南町の企業に雇っていただき、話の流れでスポーツ少年団の指導をするようになりました。

2002年のワールドカップの開催でサッカー熱が高まったことや、ゆとり教育により週末の時間が増えたことで、町外へ出かけプレーをすることができました。年間60数日は県内をはじめ長野・群馬・埼玉へと行き、大会や練習試合に参加しました。コーチとして、それにより技術習得はもちろんですが他の地域に行くことで、いろいろな知識を得てほしいと思ったからです。



スポーツ少年団の練習

津南町に来てあつという間ですが、私は嫁と3人の子どもに恵まれ、友達や仲間が増え、家族ぐるみでキャンプや様々な体験に出かけるようになりました。ある日子ども達が遊びから帰ってくると、「空気がうまいな」「水がうまいな」と口にするのを聞き、あらためて津南町の良さを感じている今日です。

まだまだ津南町の奥深いところまでは踏み込んでいませんが、身近にはたくさん雪国の良さがあり、津南再発見もありそうな気がしています。

第1回定例会は3月1日(水)に開会予定です。お気軽に傍聴においでください。

編集後記

Editor's postscript

「金」昨年の漢字である。その年の世相を清水寺の貫主が漢字ひと文字に表し、金の文字は3度目だそうである。シドニー五輪、ロンドン五輪、リオ五輪とオリンピックに合わせたようだが、東京オリンピック年も「金」をつかうのかな? 「一兆二兆と豆腐じゃない」の名セリフを言った方がいたが、2020年も金ひと文字の予想は外れないだろう。

トランプ次期アメリカ大統領のイメージも「金」のようだが、TPPや米軍管理を思うに金のやりとりは長けているようだ。「人間かねじゃない」というわりに私自身は……。 (中山)



津南町の金に値するふるさと納税